

八潮市指定の避難先

各河川が氾濫した場合に想定される浸水深により各施設ごとに避難が可能な階数は次のとおりとなります。

		①=1階以上が利用可能	②=2階以上が利用可能	◎=使用可能	/=使用不可			
指定避難所・指定緊急避難場所	種別	芝川・新芝川	元荒川	種別	芝川・新芝川	元荒川		
	番号			番号				
	施設名			施設名				
	1	八條小学校	①	②	18	八潮中央公園	◎	◎
	2	潮止小学校	①	②	19	大原公園	◎	◎
	3	八幡小学校	②	②	20	八潮南公園	◎	◎
	4	大曾根小学校	①	②	21	大瀬運動公園	◎	/
	5	松之木小学校	①	②	22	下河原運動広場	◎	◎
	6	中川小学校	①	①	23	八条親水公園	◎	/
	7	八條北小学校	①	②	24	西袋陣屋公園	/	/
	8	大瀬小学校	①	②	25	中川やしおフラワーパーク	◎	/
	9	大原小学校	①	①	26	鶴ヶ曾根運動広場	◎	◎
	10	柳之宮小学校	①	②	27	やしお駅前公園	◎	/
	11	八潮中学校	①	②	28	中川やしおスポーツパーク	◎	/
	12	大原中学校	①	②	29	コミュニティセンター	①	/
	13	八條中学校	①	②	30	八幡公民館	①	①
	14	八幡中学校	①	②	31	老人福祉センター寿楽荘	①	①
15	潮止中学校	①	②	32	資料館	①	②	
16	八潮高校	①	②	33	八條公民館	①	②	
17	八潮南高校	①	①	34	やしお苑(福祉避難所)	①	①	
				35	杜の家やしお(福祉避難所)	①	①	

避難情報・とるべき行動

警戒レベル	避難情報	とるべき行動
5	緊急安全確保 ※1	災害発生又は切迫 命の危険 直ちに安全確保! ●すでに災害が発生しています。いのちを守るための最善の行動をとります。
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~~~~~		
4	<b>避難指示</b>	危険な場所から全員避難 ●冠水など、避難が困難になっているおそれがあります。 ●速やかに避難を。 ●浸水想定区域外の少しでも安全な場所へ避難してください。
3	<b>高齢者等避難</b> ※2	危険な場所から高齢者等は避難 ●高齢者等は速やかに避難を。 ●浸水想定区域や河川沿いにいる方も、準備が整い次第避難してください。
2	<b>大雨・洪水注意報</b> (気象庁)	自らの避難行動を確認 ●ハザードマップ等で避難場所や危険な区域を再確認しましょう。
1	<b>早期注意情報</b> (気象庁)	災害への心構えを高める ●災害への心構えを高めます。

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。  
 ※2 レベル3は高齢者以外の人も必要に応じて避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

## マイ・タイムライン

マイ・タイムラインは、風水害の避難に備えた行動を一人ひとりがあらかじめ決めておく避難行動予定です。状況に応じてどのような行動をとるべきかを事前に決めておくことで、被害が発生する前に避難することができます。詳しくは国土交通省のホームページをご確認ください。 国土交通省 マイ・タイムライン ⇨



# 八潮市 洪水 ハザードマップ

芝川・新芝川  
元荒川

このハザードマップは埼玉県が令和2年5月に公表した埼玉県管理河川における想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を基に、本市において浸水被害が想定される「芝川・新芝川」「元荒川」について作成したもので、[八潮市洪水地震ハザードマップ14ページ](#)の更新版となります。

## 水害時の避難行動

### ◆適切な避難先の確保(分散避難)

避難とは、「難」を「避」けることです。安全な場所にいる場合は「立退き避難」を行う必要はありません。また、避難先は市が指定する避難所だけでなく、さまざまな避難先を利用することができます。水害時にどのような行動をとるか普段から決めておきましょう。

#### 1 まず、自宅で避難が可能かハザードマップで確認(屋内安全確保・垂直避難)

自宅が2階以上または集合住宅の2階以上に住んでいる場合、浸水深が3メートル未満の場合は自宅での避難が可能です。

#### 2 安全な場所に住んでいる家族や親戚、知人の家に避難(立退き避難)

自宅の2階以上などに避難が難しい場合は、浸水深より高い所や、浸水のおそれがない所に住んでいる家族や親戚、知人の家なども避難先の選択肢となります。市外も含めて普段から検討しておきましょう。

#### 3 市が指定する避難所へ避難(立退き避難)

健康状態の確認、感染防止用品を含めた最低3日分の生活必需品を持参して、避難しましょう。詳しくは市のホームページを確認してください。

### 屋内安全確保(垂直避難)



下記の「3つの条件」をハザードマップで確認し、自宅の安全が確認できた場合は、屋内安全確保ができる準備しておきましょう。

### 自宅に留まる「3つの条件」

- 1 浸水する深さよりも高いところに自宅がある  
自宅が想定される浸水の深さより高い場所(階数)が確認しましょう。建物の高さの目安は裏面に掲載しています。
- 2 水がひくまで留まることができ、水・食料などがある  
ライフラインが止まり、トイレが使えなくなるなど、生活環境が大きく変化します。このような状況に備え、飲料水や食料などを備蓄しておきましょう
- 3 家屋倒壊等氾濫想定区域の外側に自宅がある  
区域内は、氾濫流の直撃や河岸侵食で、建物や土地が流失するおそれがあります。

### 安全な場所にある親戚・知人宅への避難(立退き避難)



普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。  
 ※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。

### 八潮市が指定した避難場所への避難(立退き避難)

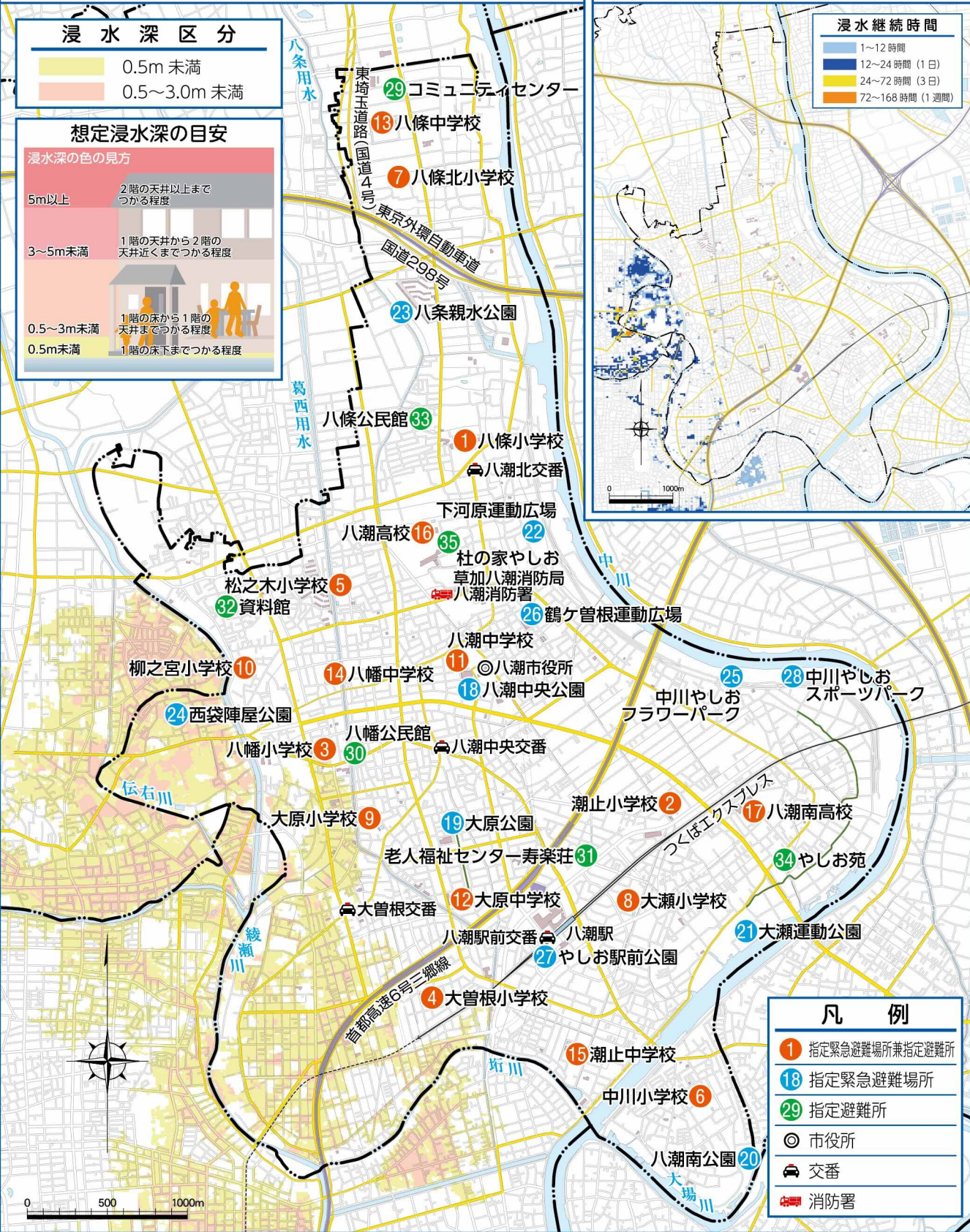


必要なものを持参して避難しましょう。  
 ●マスク  
 ●消毒液  
 ●体温計  
 ●スリッパ等

# 芝川・新芝川が氾濫した場合

## 浸水想定区域

芝川・新芝川が氾濫した際に発生する浸水の範囲と深さ

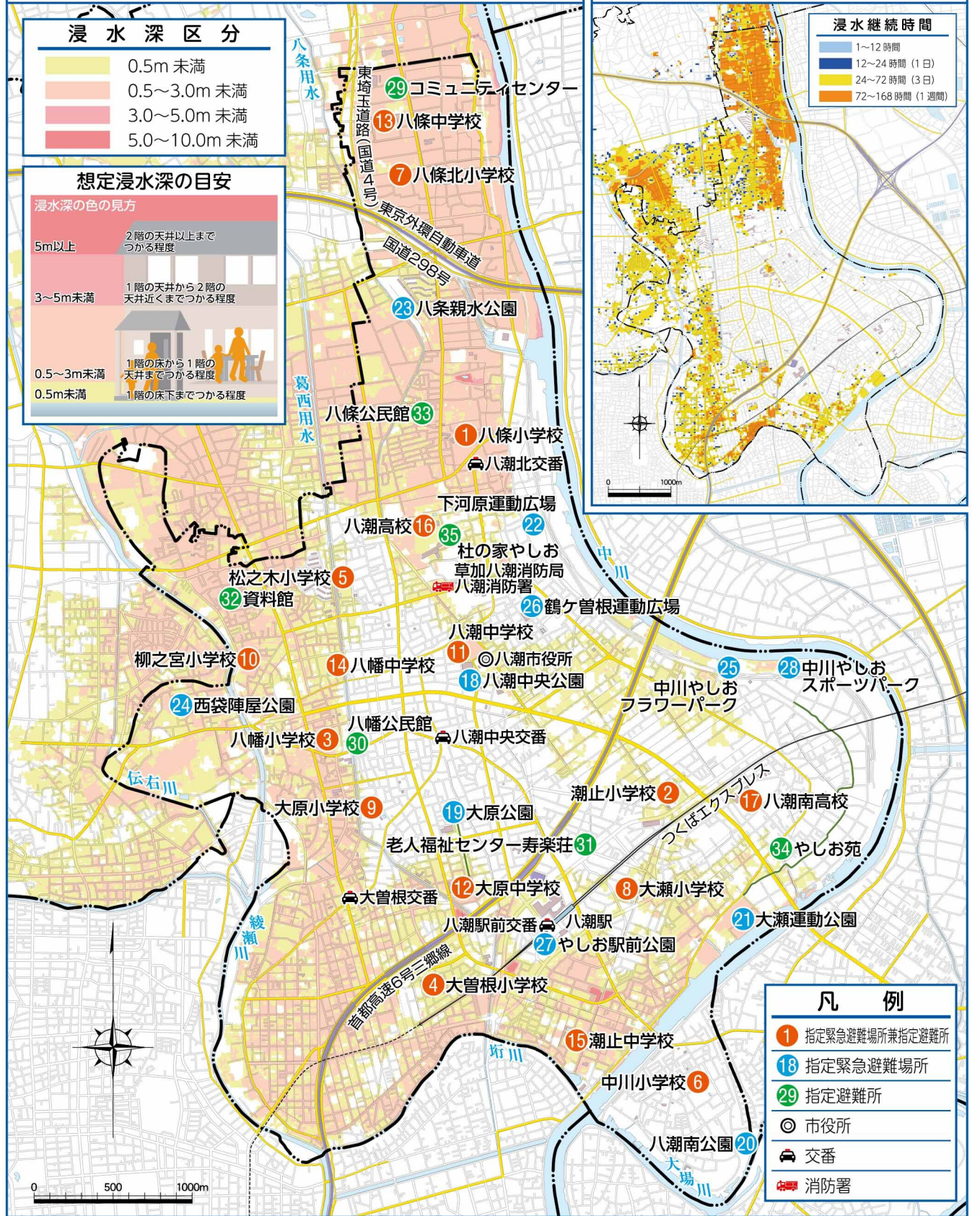


- この図は、荒川水系芝川・新芝川の県管理区間について水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- この図は、作成時点の芝川・新芝川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により芝川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- なお、各シミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 指定の前提となる降雨は、芝川流域の2日間総雨量839mmです。

# 元荒川が氾濫した場合

## 浸水想定区域

元荒川が氾濫した際に発生する浸水の範囲と深さ



- この図は、利根川水系元荒川の県管理区間について、想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- この図は、作成時点の利根川水系元荒川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により元荒川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- なお、各シミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 指定の前提となる降雨は、中川流域の48時間総雨量596mmです。